

井口寛司選手からのメッセージ

2020（令和2）年11月、戸谷監督及び河野キャプテンが退任するにあたり、井口寛司選手がドルフィンズMLに投稿したメール（2020/11/5付）を以下に掲載します。

戸谷監督 河野キャプテンへ

長い間ありがとうございました。

私の引退試合が戸谷監督の初の采配だったのですね。戸谷さんは、2000年の名古屋ドームに出場を果たした年からの現役でしたね。

また私は、河野キャプテンともすれ違いになりました。

私の場合は、幸寺、藤掛バッテリーができたことでドルフィンズの創設メンバーとして20年間、打倒大阪を目指して、神戸を全国レベルに高めたくて頑張ってきましたが、引退後にはありますが、戸谷監督と河野キャプテンでチームが準優勝できたことはほんとに誇りですよね。ただ、その年も決勝は大阪でしたね。

それは私にとっては、とても悔しいことです。

今年のコロナ禍のなかで、チーム事情はなかなか体制維持が難しいのだと思いますが、弁護士をしながら、ひとつのボールを追って野球に集中する時間をもつのは、精神的にも、肉体的な健康のためにも、とても大切なことだと思います。また、何よりチームのみんなと談笑して馬鹿話しをするのもとても良いことです。

昔は、弁護士もみんな同じような仕事をしていたので、会派活動も盛り上がっていましたが、いまはアメリカのように分断の時代になりました。その中で、ドルフィンズのようなチームでのつながりは、ますます大切な繋がりだと思います。

若い皆さんが、ますますドルフィンズを盛り上げていただくことを期待します。

戸谷監督と河野キャプテンが、まだまだ現役として頑張ってくださいということもお願いします。戸谷さんのピッチャーは、あのなんとも言えない力を抜いた感じが、なかなか良いと思っています。

ひとまずお疲れ様でした。ありがとうございました。

弁護士 井口寛司